

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# MSC TECHNICAL NEWS

No. M7700-46-9406

## 7700シリーズ、7750シリーズ、7770シリーズ タイマB パルス周期測定/パルス幅測定モード時の注意事項

タイマB パルス周期測定/パルス幅測定モード使用時の注意事項を以下に示します。

### 〔対象〕

7700シリーズ、7750シリーズ、7770シリーズ

### 〔内容〕 ( ~ は、下記の図に対応します)

- パルス周期測定/パルス幅測定モードでは、次の2つの要因から割り込み要求が発生します。これらの割り込みは、同一のタイマBi割り込みベクトル番地を使用します。  
パルス周期及びパルス幅の測定完了( )  
カウンタのオーバーフロー( )  
タイマBiオーバーフローフラグの状態によって、割り込み要因が判定できます( )。
- “1”にセットされたタイマBiオーバーフローフラグは、対応するカウント開始フラグが“1”の状態  
でタイマBiモードレジスタに書き込みを行うと、“0”にクリアされます。リセット時、タイマBi  
オーバーフローフラグは“1”にセットされます。
- カウント開始フラグを“1”にセットし、カウント動作が開始された後、1回目の有効エッジ入力時、  
不定値がリロードレジスタに転送されます( )。また、1回目の有効エッジの入力では、割り込み要求は  
発生しません( )。
- タイマの初期値は不定ですので、1回目の有効エッジの入力前にタイマBiがオーバーフローし、タイマBi  
割り込み要求が発生することがあります( )。オーバーフローフラグの検査などで対処してください。
- TB<sub>in</sub>端子へのノイズ等の影響を受けると、正確な測定ができない場合があります。したがって、測定値  
が一定の範囲に入っていることを、ソフトウェアで確認することを推奨します。
- カウント動作中に測定パルスの有効エッジを切り替えると、割り込みが発生します。したがって、有効  
エッジの切り替えは、カウント停止中に行ってください。

